

地域普及型の電動マイクロバスシステムの開発と普及モデルの構築

代表者 早稲田大学環境総合研究センター 大聖泰弘 教授

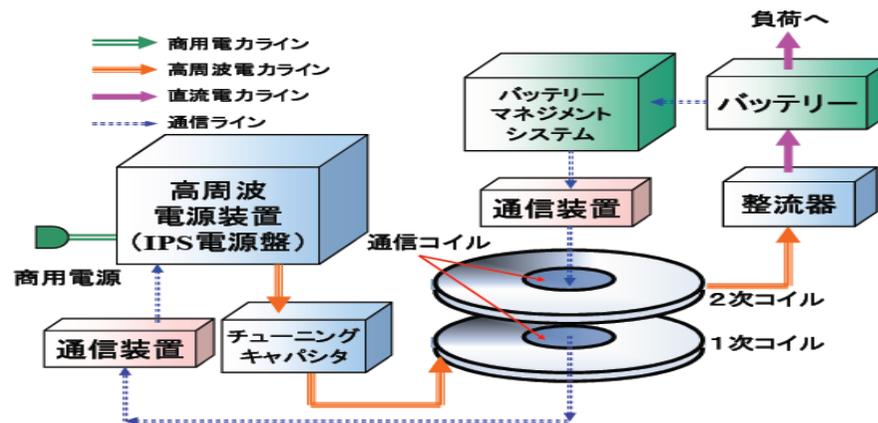
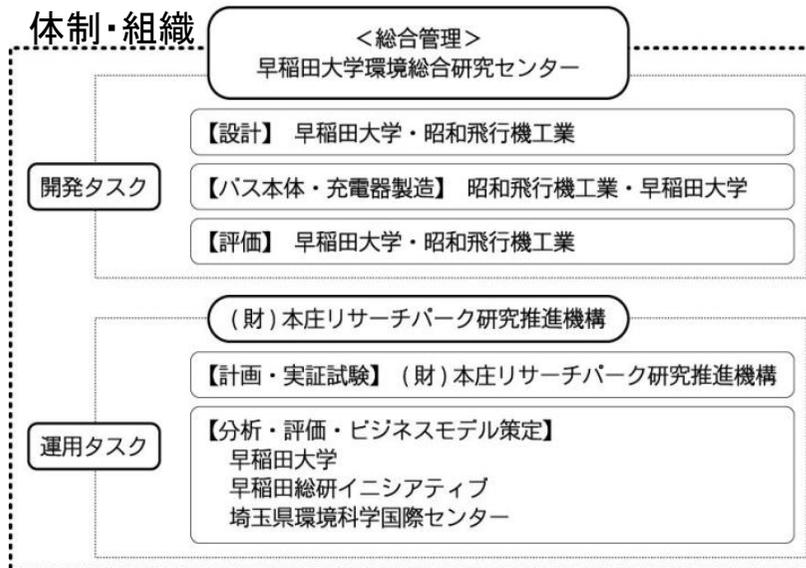
経費 2.0億円(21年度補正予算、委託費)

概要 短航続距離・高頻度充電コンセプト及び市販マイクロディーゼルバス車体の活用により、車両重量・インシヤルコストを大幅に削減した非接触急速充電装置搭載電動バスを試作し、埼玉県熊谷市及び本庄市で実証試験を行い、自家用車からの乗り換えに向けて、普及のためのインセンティブを含めた政策等を検討するもの。

項目	仕様
日野自動車製ポンチョ(コミュニティ・バス)を改造	
全長	6,290mm
全幅	2,080mm
全高	3,100mm
定員	20~30名



項目	目標性能
一充電走行距離	45km (実走ベース)
充電方法	非接触急速充電方式等
充電時間	5~8分間(フル充電のためには約60分間必要)





電動フルフラットバスの地域先導的普及モデル策定とシステム化の実証研究

代表者 慶應義塾大学環境情報学部 清水 浩 教授

経費 5.0億円(21年度補正予算、委託費)

概要 電気自動車「Eliica」の集積台車、新型電池等の技術
を応用し、現在のディーゼルバスと比較して走行性能も
経済性も同等以上の汎用性が高い、床全体が低く平ら
な電動バスを試作する。県内全域で実証試験を行い、
県民に触れてもらうとともに、バス事業者も参画した評
価を行い、普及に向けたムーブメントを加速させる。

項目	仕様
全長	約9,000mm (中型級)
全幅	約2,400mm (同)
全高	約2,700mm (通常バス比-300~400mm)
定員	69名 (大型並)

項目	目標性能
一充電走行距離	150km(実走ベース)
登坂力	20%
最高速度	100km/h
充電時間	10分間

体制・組織



Keio University
1858
CALAMVS
GLADIO
FORTIOR

集積台車、インホイールモーター等
基本特許



ISUZU

バスとしての
総合化[ボディー、
キャビン等]



国立環境研究所
台上・路上試験の
ための評価技術



神奈川県バス協会
[県内全域での
実証試験]



東京電力

(充電インフラ)



神奈川県
全国に先駆けた電気自動
車普及施策の推進
経済産業省のEV・pHVタ
ウン構想の中で広域実施
自治体として選定



外観デザイン例